

“生ける伝説”
アンジェイ・ワイダ最新作!

2013年
ヴェネチア国際映画祭
パシネッティ賞受賞

2013年
シカゴ国際映画祭
最優秀男優賞受賞

2013年
トロント国際映画祭
正式出品作品

ワレサ

連帯の男

Walesa. Człowiek z nadziei

監督:アンジェイワイダ

出演:ロベルト・ヴェンツキェウチ「ソハの地下水道」、アグニェシュカ・グロホフスカ「ソハの地下水道」

2013年 ポーランド映画 ポーランド語・イタリア語 (124分) シネマスコープ デジタルS.Lch 英語:Walesa, Man of Hope 日本語字幕:吉川美奈子 字幕監修:久山宏一 提供:ニューセレクト/NHKエンタープライズ 配給:アルトスフィルム

1980年代ポーランドの厳しい体制下、人々は自由と未来のために立ち上がった。



AKSON STUDIO TELEKOMUNIKACJA POLSKA TVP - TELEWIZJA POLSKA S.A. NATIONAL CENTRE FOR CULTURE CANAL + CO-FINANCED BY POLISH FILM INSTITUTE PRESENT A FILM "WALESA, MAN OF HOPE" DIRECTING ANDRZEJ WAJDA SCREENPLAY JANUSZ GLOWACKI DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY PAWEŁ EDELMAN PSC
STARRING ROBERT WIECKIEWICZ AGNIESZKA GROCHOWSKA MARIA ROSARIA OMAGGIO ZBIGNIEW ZAMACHOWSKI CEZARY KOSIŃSKI MACIEJ STUHR CREATIVE SUPPORT AND CAST EWA BRODZKA SOUND JACEK HAMELA MAKEUP WALDEMAR POKROMSKI TOMASZ MATRASZEK
COSTUME DESIGNER MAGDALENA BIEDRZYCKA PRODUCTION DESIGNER MAGDALENA DIPONT EDITING MILENIA FIEDLER PSM GRAŻYNA GRADŃ PSM MUSIC PAWEŁ MYKIETYN PRODUCTION MANAGER PAWEŁ GABRYŚ EXECUTIVE PRODUCER KATARZYNA FUKACZ-CEBULA MAŁGORZATA FOGEL-GABRYŚ PRODUCER MICHAŁ KWIECIŃSKI

Walesa-movie.com

「時に君たちは、自由のために 闘わなければならない」



ソ連邦を中心とする東欧の共産主義国家が倒れた東欧民主化から25年——。その口火となったポーランドの独立自主管理労組「連帯」の闘いを、初代委員長ワレサと彼の家族の日々をとおして描く歴史大作。

●1980年代初頭、グダンスクのレーニン造船所で電気工として働くレフ・ワレサの家に、イタリアから著名な女性ジャーナリスト、オリアナ・ファラチが取材に訪れたところから映画は始まる。ワレサは彼女に、1970年12月に起こった食料暴動の悲劇から語りだす。物価高騰の中で労働者の抗議行動を政府が武力鎮圧した事件だ。この時、ワレサは両者に冷静になることを叫び、検挙された際、公安局に協力するという誓約書に署名を強いられた。

●グダンスクのアパートで質素に普通の生活を送っていたワレサとその妻ダスタ、そして産まれてくる子供たち。この事件以降、一家は、歴史的転換期の真只中で、運動に深く関わってゆき、ワレサはその中で次第に類まれなカリスマ性と政治的感性を発揮してゆく…。

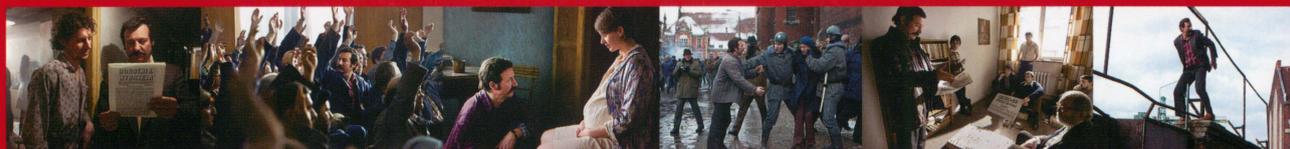
●1970年から1980年代のポーランドをはじめとする東ヨーロッパの国々は、ソ連邦の傘下、検閲や思想統制など社会的に束縛され、極めて厳しい状況にあった。その体制に対して、人々が自由のために闘い、未来のために議論し、力を合わせて抗したことを、ワイド監督は映画に記して、後の世代に残そうとした。

●ワイド監督は、その闘いの中心人物ワレサに敬意をこめながらも、彼を英雄としては描いていない。気高く、家族思いであるとともに、ユーモアがあり、弱くて傲慢でもある複雑な性格を持つ人物として描いている。また彼の英雄的行動の背景には妻ダスタの存在があったことを、とりわけ大切に描いている。そこにはワイド監督夫妻の体験も重ねているようだ。

『大理石の男』『鉄の男』から20年を経て、ワイド監督が最新作に込めたライフワークともいえるテーマ

●2016年に90歳になるワイド監督は、『地下水道』(56)、『灰とダイヤモンド』(58)など、第二次世界大戦におけるポーランドの苦難の歴史を描くほかに、『大理石の男』(76)、『鉄の男』(81)など、グダンスク・レーニン造船所の労働者をテーマに、戦後ポーランドの大きな転回点となった時代を描いてきた。本作は、これら2作から約20年を経て、三度、同じテーマに取り組んだ彼のライフワークともいえる。

●撮影は35ミリと16ミリのカメラを併用し、当時撮影された膨大な記録映像に質感を合わせ、実写映像と見事に結合させた。音楽も大きな効果をあげている。80年代のロックミュージックを全編使用し、時代の高まりをリアルに生き生きと表している。また「鉄の男」から、ビラ配りのシーンや政労合意の調印がされた後の人気のない会場の情景を挿入し、過去の2作品との連続性を暗示させている。



ワレサ 連帯の男

監督：アンジェイ・ワイド | 脚本：ヤヌシュ・グウォヴァツキ | 出演：ロベルト・ヴェイツェウイチ、アグニェシュカ・グロホフスカ | 2013年 | ポーランド映画 | ポーランド語・イタリア語 | シネマスコープ | デジタル5.1ch | 127分 | 原題：Waleśa. Człowiek z nadziei | 英題：Waleśa. Man of Hope | 字幕翻訳：吉川美奈子 | 字幕監修：久山宏一 | 提供：ニューセレクト / NHKエンタープライズ | 配給：アルパロス・フィルム
© 2013 AKSON STUDIO SP. Z O.O., CANAL+CYFROWY SP. Z O.O., NARODOWE CENTRUM KULTURY, TELEKOMUNIKACJA POLSKA S.A., TELEWIZJA POLSKA S.A. ALL RIGHTS RESERVED

4/5⑤よりロードショー (5/30まで)

特別ご鑑賞券1,500円(税込)好評前売中!

当日一般1,800円、シニア・学生1,500円 ●特別ご鑑賞券の岩波ホールでの販売は4/4④まで

岩波ホール

03(3262)5252
www.iwanami-hall.com

上映時間 月～金 11:30 | 2:30 | 7:00
入替制・定員制 土・日・祝 11:30 | 2:30 | 5:30

●地下鉄(都営三田線・新宿線 / 半蔵門線) 神保町駅A6出口スグ ●JR(中央線)水道橋駅または御茶ノ水駅下車徒歩12分 ●神保町交差点角